

## 発表時の使用機材等についてのご案内

### 【はじめに】

- ・発表言語は英語です。但し、演題申込時に日本語を選択された方のみ、日本語で発表できます。
- ・ハンドアウトを配布することを可としますが、準備に係る費用負担を含め、全てご自身で行ってください。ハンドアウトの言語は問いません。
- ・発表会場内での販売行為は禁止させていただきます。
- ・口演発表には5分間の質疑応答時間が含まれています。時間は厳守してください。

### 口演発表、シンポジウム、ラウンドテーブル、ワークショップ

#### 【会場の機材設備について】

- ・各発表会場にPCとプロジェクター、スクリーンが1セット設置されます。PCのOSはWindows 7、アプリケーションソフトはOffice 2010・2013です。DVD-R/CD-Rドライブ、USBポートが設置されています。OSは日本語版（日本語表記）です。
- ・使用フォントは、Windows7に搭載されている標準フォント（MSゴシック、MS明朝など）です。
- ・Microsoft Power Point（2003~2013）が使用可能です。
- ・プロジェクター接続コネクタの形状は、D-SUB mini 15pin（図参照）です。Macを持ち込まれる場合は専用の変換アダプタが必要になる場合がありますので必ずご持参ください。



- ・CD、DVD、Blu-rayの再生専用機器はご使用いただけません。持参されたPCを使用して再生することは可能です。
- ・音声出力用に3.5mmステレオ・ミニプラグ（図参照）をご用意します。



#### 【ご注意とお願い】

- ・会場に設置されたPCを使用して発表を行う場合、データはUSBメモリ、CD-R、DVD-Rのいずれかに保存してご持参ください。
- ・発表の中で音声や映像を使用される場合、Microsoft Power Point（2003~2013）以外のプレゼンテーションソフトが使われる場合は、必ずご自身のPCをご持参ください。
- ・万々に備えて、バックアップデータを必ずご持参ください。
- ・何らかの原因で持参されたPCから映像・音声が出力できない場合は、会場設置のPCを使用しての発表となります。その場合、スライドや動画・音声の再現性は保証されませんのでご了承ください。

#### 【メディアチェックに関して】

発表会場内と同一の使用条件下で動作確認をしていただきます。メディアセンターで指定時間内に必ずメディアチェックを受けてください。メディアセンターの場所、指定時間については後日通知いたします。

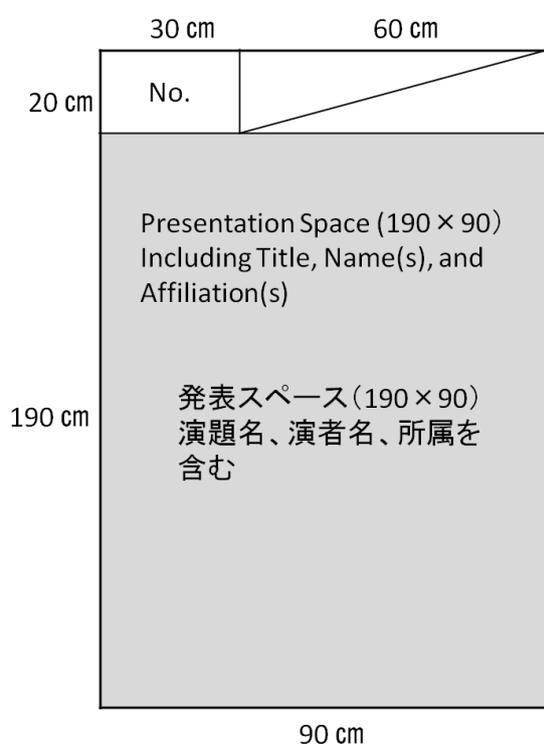
## ※ワークショップを行う方へ

- ・ワークショップ用には上記機材の他、鍵盤楽器（電子キーボード）が用意されています。その他の楽器等はご自身でお持ち込みください。
- ・大きな音が出る楽器を使用される場合、大掛かりなセッティングが必要な場合は、5月末日までに大会事務局（[wcm2017@jmta.jp](mailto:wcm2017@jmta.jp)）までお知らせください。
- ・楽器と機器の用意と撤収は必ず休み時間と発表時間内に終わるようにしてください。特に午後の発表では、各ワークショップの間に15分の休憩しかありませんので、スムーズな入れ替えができるようご協力ください。

## ポスター発表

- ・ポスターは英語でご準備ください。日本人参加者向けにハンドアウトを配ることは可能です（ハンドアウトの言語は問いません）。
- ・縦190cm×横90cmのスペース内をご自由にお使いください（パネルは210cm×90cmです）。
- ・左上の演題番号はあらかじめ用意されています。
- ・上部にタイトル、発表者氏名、所属を見やすく記載してください。
- ・文字や図は1m程度離れた場所から見えるよう配慮し、大きなフォントを使用してください。
- ・ポスターは英語でご用意ください。
- ・貼り付け用のピンは大会側で用意いたします。
- ・発表者は指定の45分間、在席する義務があります。

## Poster Size



ポスター番号はあらかじめ用意されていますので、ご準備いただく必要はありません。